



No. 66  
2022 Summer

山松舎  
臨南寺

特集

瑩山けいざんぜんじ禪師ものがたり ⑪



「平常心これ道」の悟りを得て

義介さまから後継者に指名されました

約束の三年間が過ぎて

瑩山さまは三年間という約束で阿波(徳島)の城満寺の開山とられました。三年間で七十人あまりに受戒を施され、仏弟子を育てられました。

約束の三年間が過ぎて、瑩山さまは義介さまの待つ加賀(金沢)の大乗寺に帰られました。三十二歳になっていました。

そんなある日のことでした。義介さまが弟子たちを集めて、お尋ねになりました。「中国の禅僧に趙州ちゆうしゅう禪師という方がおられるが、その方の教えに『平常心これ道』という教えがある。この意味が分かる者はいるか?」

並みいる弟子たちは静まり返っています。

その中で瑩山さまが一人手を挙げて答えられました。

「道は知でもなく、不知でもありません。不識と言いましようか」

「道」は認識、分別の埒外らちがわにあるということです。

黒い球が夜の闇を走る

その答えをお聞きになった義介さまは深くうなずき、

「そうか、そなたは悟つたのか」

「はい、黒漆をかけた真つ黒い球が、夜の闇を走っていくようなものでしょう」

「うむ、もう一度言い直してみよ」

「その心は、お茶に会ったからお茶を飲みご飯に会ったらご飯を食べるようなことですよ」

瑩山さまのこの答えに、義介さまは微笑を浮かべて告げられたのです。

「わかりやすい言葉でうまく言い表せたものじゃ。瑩山、お前は師匠のわしを超えた器量の持ち主じゃ。趙州ちゆうしゅう禪師の気概と同じものを感じるぞ。これからはそなたが中心となり、道元さまから受け継がれてきた永平の宗旨を発展させてほしいものじゃ」

瑩山さまは「平常心これ道」の悟りによつて、義介さまから自分の後継者として認められたのです。

三十五歳で大乗寺の住職に

こうして瑩山さまは義介さまの法を受け継ぎ、義介さまの代理を務めることになりました。三十三歳の時には立僧入室りつそうじゅうしつが行われます。瑩山さまが義介さまの部屋に入つて教えを受け、義介さまは瑩山さま

に袈裟を与えました。瑩山さまが義介さまの後継者と、正式に認められた瞬間でした。

三十五歳になられた瑩山さまは、義介さまの後を継いで大乗寺の二代目住職に就任されました。義介さまは八十八歳になられていました。

その三年後、義介さまは大乗寺で遷化されます。九十一歳の大往生でした。瑩山さまは、義介さまの墓塔を建て、道元さま、懐契さま、義介さま、三祖師の霊骨を収めてまつられました。

大乗寺の住職に就任されたころから、瑩山さまは「伝光録」という本をお書きになります。そして、多くの弟子たちを育て導かれましたが、そのお話は次回といたしまししょう。



大乗寺

# 八月はお盆、 九月はお彼岸です



お盆は八月十日のお墓経から  
臨南寺のお盆は、八月十日、十  
二日のお墓経から始まります。

十二日には、本堂前の広場で「弁  
財天万灯会」を開催します。願  
い事を書いて、弁天様に献灯いたし  
ましょう。ご先祖様や亡き人へ  
のご供養にもなります。

十六日には、孟蘭盆会施食会を  
修行いたします。亡き人やご先祖  
様など、各家にゆかりの精霊を  
回向させていただきますのでお参  
りください。

お彼岸の法要は九月二十六日  
九月二十二日、二十三日にお彼  
岸のお墓経を行います。

二十六日には、彼岸会施食会の  
法要を行います。お彼岸はご先祖



8月12日、本堂前の広場は弁天様への献灯が揺れて幻想的です

様に感謝し、自分の生き方を振り  
返る大切な期間です。ご先祖様を  
しのび、ご家族の今に感謝いたし  
ましょう。

ご都合が悪い方は、いずれの行  
持も不参にてお受けしますので、  
お問い合わせください。

## 寺南景 百景



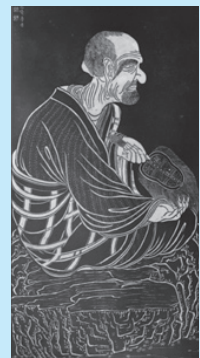
### 十六羅漢さま 第三回

臨南寺の羅漢さまは、ご本尊さ  
まをまつる内陣の左右に、八人ずつ  
分かれていらつしやいます。合掌さ  
れていたたり、巻物を持つておられた  
り、一人ひとり違った特徴がありま  
す。内陣にあるので少し見にくい  
ですが、本堂にお参りされた時は  
ぜひそのお姿に触れてみてください。

羅漢さまとは、「修行を完成し  
た人」「悟りをひらいた高僧」のこ  
とです。お釈迦さまのお弟子さん  
のうち、特に優れた十六人の弟子  
を十六羅漢といいます。羅漢さま  
は、涅槃に入る間際のお釈迦さま  
から「永くこの世にとどまり、仏  
法を護持して衆生を救済せよ」と  
命じられ、各地で仏法を守り伝え  
ました。

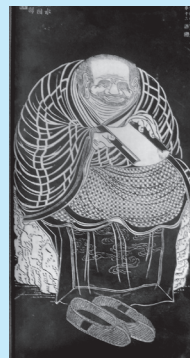
第三回の四人をご紹介しますし  
ょう。

第九 成博迦尊者  
この羅漢さまは、香醉山に住まわられてい  
ます。扇を持ち石に座る姿です。



ジュバカ

第十 半託迦尊者  
この羅漢さまは、須弥山頂上に住まわられて  
います。第十六羅漢の注茶半託迦尊者のお兄  
さまです。



ハンタカ

第十一 囉怛羅尊者  
この羅漢さまは、お釈迦さまの一人息子で  
す。十六羅漢の中からただ一人だけ十大弟子  
にも選ばれています。



ラゴラ

第十二 那迦犀那尊者  
目を見開き顎を突き出して合掌する姿のこ  
の羅漢さまは、アレクサンダー大王の末裔ミ  
リント王を出家に導いたと伝えられています。



ナカサイナ



## よろしくお願いいたします 山本桂子

今年の三月からお勤めさせていただいております山本桂子と申します。

こちらに来てから、ご来寺される皆様の熱心なお墓参りに姿に驚かされ、私ももつとご先祖様を大切にしなければいけないと日々気付かされております。

趣味でマラソンを走っていた頃、何度も長居公園に練習で来ていましたが、街中こんな大きなお寺があることから気付いていませんでした。臨南寺の静かで落ち着いた環境に影響され、日頃慌ただしく過ぎていく毎日を少し丁寧



に過ごしてみようと思っております。

お寺の仕事は初めてで、戸惑うことも多々ありますが、

お寺様や寺務所の皆様にご指導いただきながら様々な経験を積み、ご縁を大切にし、自分自身が成長できるよう精一杯務めさせていただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 臨南寺行持予定（八〜九月）

### お盆行持

#### お墓経

\*八月十日 午前十時〜正午  
\*八月十二日 午後五時〜八時

お盆のお墓経を行います。どちらかご都合のよい日にお越しください。塔婆の準備がございますので、必ず事前にご連絡ください。（回向料二万円）

#### 弁財天万灯会

\*八月十二日 午後六時〜八時（献灯のみ）

あらゆる願いを叶えてくださる弁財天様に、願いを託して献灯をし、福を授かりましょう。お盆の迎え火としてもご献灯いただけます。

#### 孟蘭盆会施食会（本堂）

\*八月十六日 午前九時〜十二時半

お盆供養の法要を行います。各家のご先祖様と、ご縁の深い精霊のご供養をいたします。ひょうごなただでもご参加いただけます。（回向料二万円）

### お彼岸行持

#### お墓経

\*九月二十二日 午前十時〜午後三時  
\*九月二十三日 午前十時〜午後三時

どちらかご都合のよい日にお越しください。塔婆の準備がございますので、必ず事前にご連絡ください。（回向料二万円）

#### 彼岸会施食会（本堂）

\*九月二十六日 午後一時〜二時半

お彼岸供養の法要を行います。お彼岸はご先祖様に感謝し、わが身を省みる大事な期間です。ご先祖様をしのび今あることに感謝いたしましょう。どなたでもご参加いただけます。（回向料二万円）

\*なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止することや変更する場合がございます。臨南寺の行持については、臨南寺のホームページでご確認いただくか、電話でお問い合わせください。寺務所の電話 ○六・六六九八・二〇〇二（九時〜十七時）

早朝坐禅会、写経会ともしばらくお休みさせていただきます。ご了承ください。

## 春のマトリ合同法要

読経が続く中で

ご焼香していただきました

ゴールデンウィークの最終日の五月八日(日)午後一時から、感染症対策を取った上で、マトリにご納骨された皆様の法要が執り行われました。

「マトリ」とはサンスクリット語で母を意味します。母のふところに抱かれて永遠の安らぎが得られますようにと祈る思いが込められています。



マトリの中ではお坊さんたちの読経が続きました

## 休憩所が新しくなりました

休憩所の向かいにありました「東洋文化研究所」を改装して「檀信徒休憩所」といたしました。階段の横にスロープも設けましたので、車椅子の方もご利用いただけます。



## お盆とお彼岸は、車が込み合います



境内の歩道は、徒歩の方や車椅子の方だけでなく、自転車の方もご利用いただけます。

数年前から、当寺院の境内地で人身事故が発生しています。境内での運転は最徐行でお願いします。改善される様子が見られなければ、車両の乗り入れを禁止いたします。

なお、境内地内での事故等につきましては、当寺院では一切の責任を負いません。



この歩道は、自転車もご利用ください

## 編集後記

地球温暖化があり、新型コロナウイルスに襲われ、さらにロシアのウクライナ侵攻が世界を巻き込んでいます。とても二十一世紀の出来事とは思えません。どこかのお寺の住職さんが「お釈迦さまの言葉のように生きています」とおっしゃっていました。私もそう生きたいと思います。(M)

## 臨南寺会館(紫雲殿)の建て替え工事が 始まりました

境内の臨南寺会館(紫雲殿)では、老朽化に伴い、建て替え工事が始まりました。工事は年内一杯を予定しています。

檀信徒の皆様と墓苑をご利用の皆様には、ご不便やご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

「ほ〜っと」66号

令和4年7月

編集・発行：りょうがりん 椋伽林「ほ〜っと」

編集室

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-32

TEL 06-6698-1001

FAX 06-6697-3330

Eメール：rinnanji@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.rinnanji.com